

令和3年度 病虫害発生予察 特殊報 第3号

病虫害名： ヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana*(Matsumura)

対 象： ウメ、アンズ、モモ、エドヒガン

1 病虫害情報の内容

Singapora shinshana(Matsumura)の発生と被害を、東京都区部及び多摩地域で初めて確認した。

2 発生経過

- (1) 令和3年8月に東京都区部で庭木のウメ、アンズ、モモの葉が白化し、ヨコバイ類が飛翔しているとの情報提供があった。9月に現地及び近辺のウメ園地の調査を行ったところ、全ての調査地点において葉の白化症状(図1)及びヨコバイ類の寄生を確認した。採取した成虫の同定を横浜植物防疫所に依頼した結果、いずれも *Singapora shinshana* (Matsumura) と判明した。その後の追加調査にて多摩地域のウメ、モモ、エドヒガンにも本種の寄生及び被害を確認した。
- (2) 海外では中国、台湾、韓国、北朝鮮で本種の発生が確認されている。国内では沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県の11府県で発生が報告されている。

3 形態

成虫の体長は3.0~3.5 mmで体色は黄緑色。複眼は黒く、頭頂部に黒点を1つ有する(図2)。

4 生態

国内での詳細な生態は明らかになっていない。ウメ、アンズ、モモ、スモモ、オウトウ、モッコウバラの他、海外ではナシやリンゴ等のバラ科果樹、サンザシ、ポポー、ポプラに寄生することが報告されている。韓国では7月末から9月末までが本種の増加期であることが明らかになっている。

5 被害

成虫及び幼虫が吸汁することで、葉の表面が白化する。激しく加害されると落葉することがある。被害葉の裏には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い(図3)。

6 防除対策

- (1) 令和3年10月18日現在、本種に対する登録農薬はない。
- (2) 本種の発生及び被害の早期発見に努める。発見した場合は速やかに寄生葉を除去し、深めの穴に埋却するなど適切に処分する。

7 参考文献

- (1) 特殊報：和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県
- (2) 林 正美ら (2016)：日本昆虫学会日本昆虫目録第4巻 p.311
- (3) Cao, Y., Zhang, Y. (2013):Revision of a common erythroneurine pest occurring on peach trees in China (Hemiptera: Cicadellidae: Typhlocybinae)
- (4) Hyun-guk Kim, Md. et al. (2021):Seasonal phenology and damage by *Singapora shinshana*(Hemiptera:Cicadellidae) and other leafhoppers on ornamental trees in Korea : Entomologica Research volume 51 Issue 9 p.423-431



図1 葉の白化症状 (左：ウメ 中：モモ 右：エドヒガン)



図2 *Singapora shinshana* 成虫 (左：全体像 右：頭部拡大)
(東京都農林総合研究センター 大林隆司氏 撮影)



図3 葉裏に付着した脱皮殻と幼虫 (ウメ)